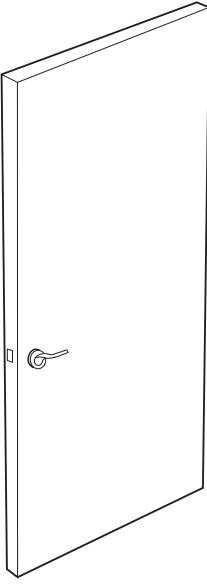


OMEGA 開戸ユニット
片開ドア・親子ドア・両開ドア

このたびは、阿部興業の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 室内専用です。屋外や浴室に使用しないでください。
使用しますと腐れ、割れ、ねじれ、反り等の不具合が発生します。
- ビス穴加工以外の扉・部材等にビスを取付ける時は、リード穴をあけてビスを取付けてください。割れ等の原因となりビスの効きが減少し、不具合の原因となります。
- 照明灯等の熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。
- 施工完了まで、水平になるように保管してください。水平でないと反り等の原因となります。

扉梱包（扉本体）		枠梱包	
片開	親子・両開	部材名	
1	2		
		①	上枠 (1)
		②	縦枠 戸先側 (1)
		③	縦枠 丁番側 (1)
		④	戸当り (上用:1) (縦用:2)
		⑤	ケーシング (上用:2) (縦用:4) ※ケーシングタイプのみ

※ケーシングタイプは枠形状が異なります。

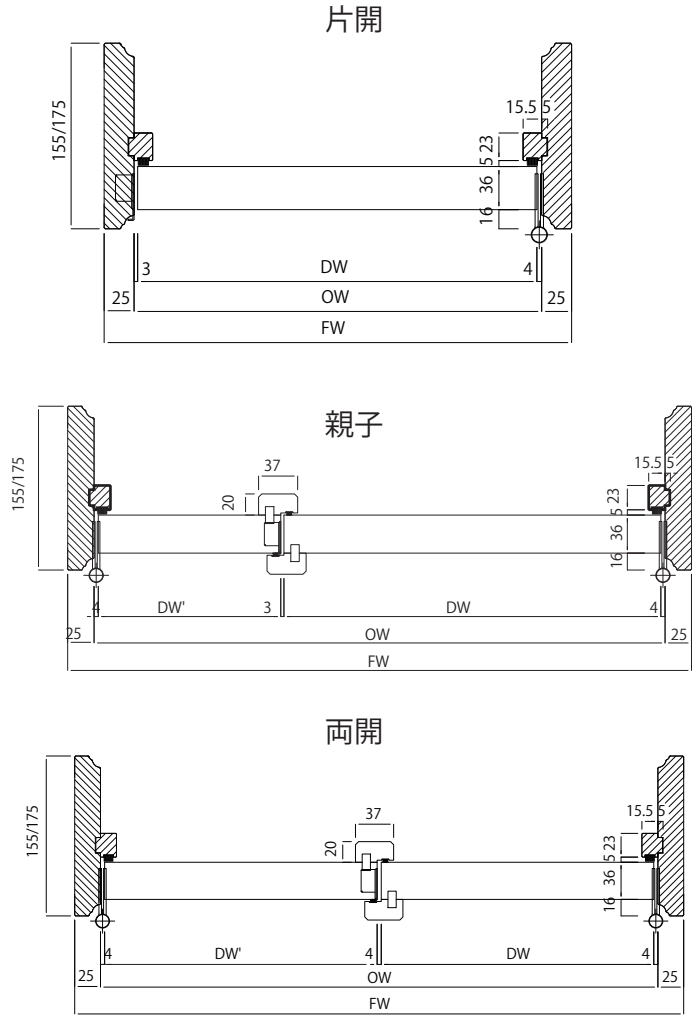
部品梱包	枠組立ビス	躯体取付ビス	戸当り取付ビス
片開	8	10	13
親子・両開	8	10	15

※上記数量は、規格品の場合の本数です。

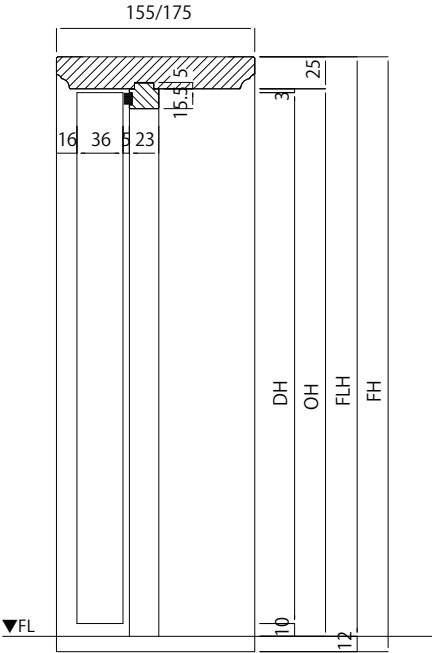
枠	タイプ	枠見込 (mm)	スタンダード	
			FW (mm)	FH (mm)
三方枠	片開	(固定枠) 155・175	725	2042/2290
			755	
			775	
	親子	(ケーシング枠) 112・130	1185	
	両開		1650	

納まり図

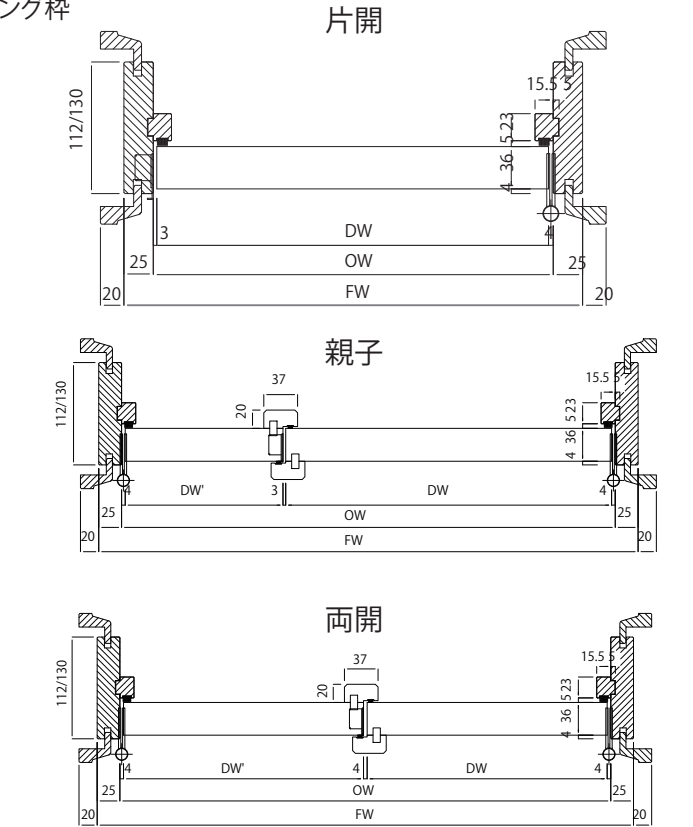
●固定枠



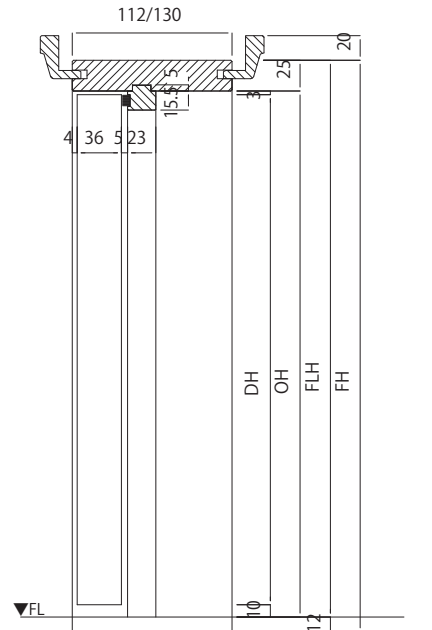
<横断面図／固定枠>



●ケーシング枠



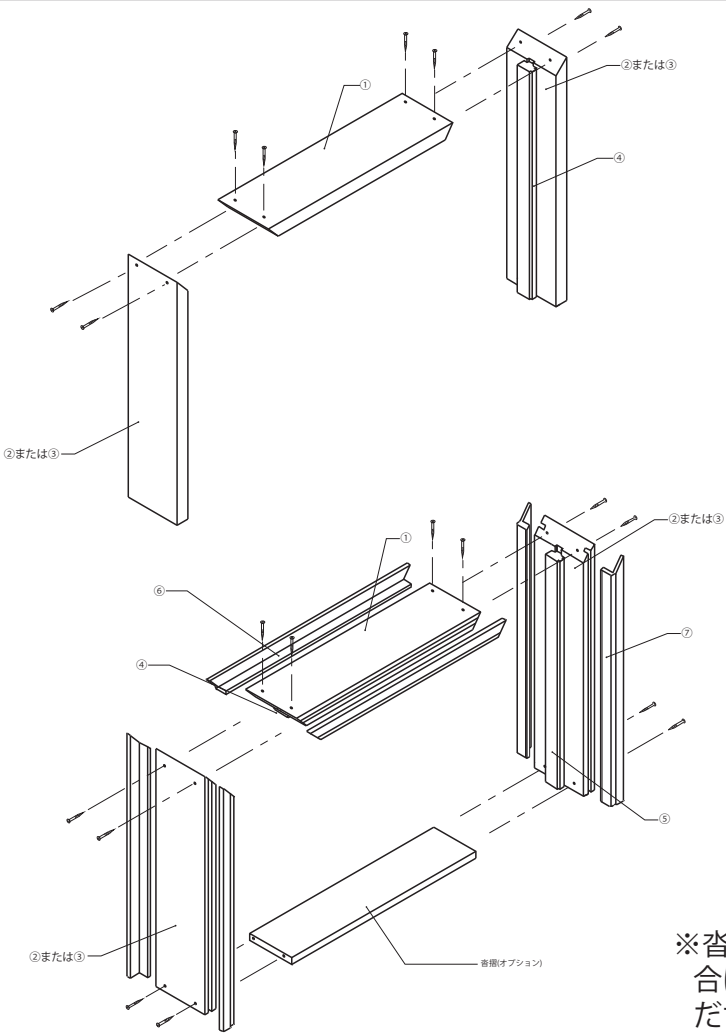
<横断面図／ケーシング枠>



1. 枠の組立て

枠の組立て<片開>

固定枠



※ケーシングは現場にて留め加工にカットしてください。

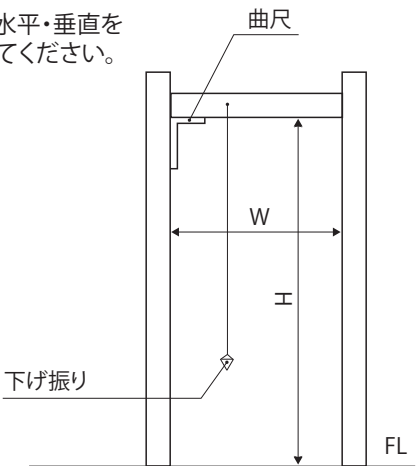
※沓摺(オプション)取付けの場合はリード穴をあけてご使用ください。
※沓摺を取付けない場合は12mmカットしてご使用ください。

2. 開口部の確認

- ① ドア枠取付け前に、必ず柱・床・マグサの水平・垂直が出ているか確認してください。
- ② 枠の見込は固定枠(155・175mm)とケーシング枠(112mm・130mm)とケーシングの組合せにより幅広く対応できます。

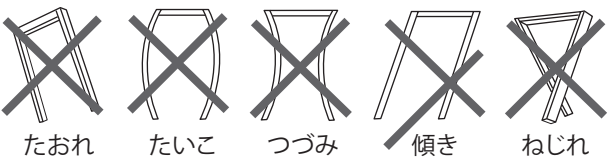
※ケーシングをカットする場合は一律に丸ノコ等で塗装面からカットしてください。カット後は補修セット等でタッチアップしてください。

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。



2. 枠の取付け

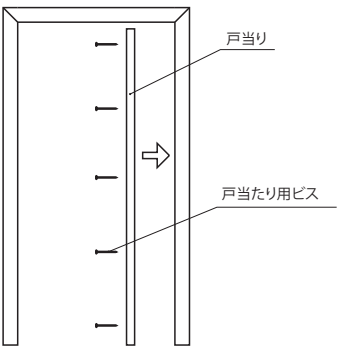
- ① 枠を壁面のラフ開口部にはめ込み、クサビ等で上下・左右・前後・倒れ等を調整し位置を決めてください。右図のように戸当り溝の間より枠取付け用木ネジにてネジ止めし、躯体にしっかりと固定してください。※木ネジ止め時には、枠に傷をつけないように止めてください。
- ※クサビ等は、左右4個・上2個位を平均に使用して調整を行ってください。木ネジはクサビ等がある場所へネジ止めしてください。
- ※施工後の枠が右下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



<戸当りの取付け>

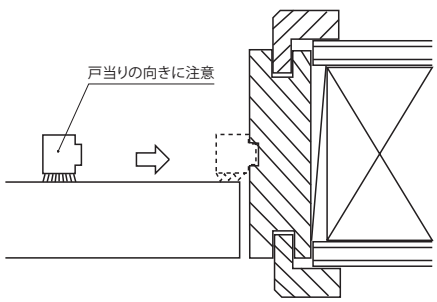
- ① 枠の戸当り溝に接着剤を塗布してください。戸当りを溝に図Aのように押込み、戸当り用ビスで固定してください。
- ※戸当りを取付ける際、図Bのようにモヘヤのついている面がドア側になるように取付けてください。

図A



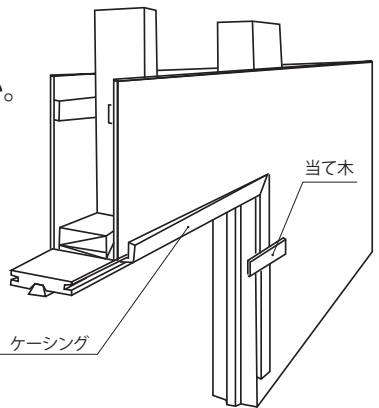
※ビス止めにて行う場合は、リード穴をあけてビス止めしてください。

図B



3. ケーシングの取付け(ケーシング枠の場合のみ)

- ① 枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
- ② ケーシングを木工用ボンドで枠に固定します。
- ※ケーシングは接着剤が固まるまで右図のように数箇所「当て木」で押えてください。
- ③ 親子ドアの場合は、フランス落しのツボ受けの加工をしてください。
- ④ 切断加工面等を補修セットでタッチアップし目立たないようにしてください。



4. 扉の吊込み

⚠ ご注意 ⚠

オメガシリーズは無垢材を使用しているため30kg前後の重量がありますので、次のことを必ずお守りください。
●必ず枠がしっかり躯体に取付いているか確認の上、吊り込み作業を行ってください。
●周りに人がいないことを確認し、作業を行ってください。
●扉と枠に手や指を挟まれないように注意してください。

- ① 丁番を所定のビスを使用して、下穴にしたがって取り付けてください。
※丁番は2管丁番で、上下中兼用となります。左右の勝手は確認してください。
- ② 枠側・扉側にそれぞれ丁番を取付けた後、互いの丁番を合わせ、吊り込みをしてください。
- ③ 枠側・扉側の丁番加工は塗装できつくすることがありますので、丁番が浮かないようしっかり装着してください。

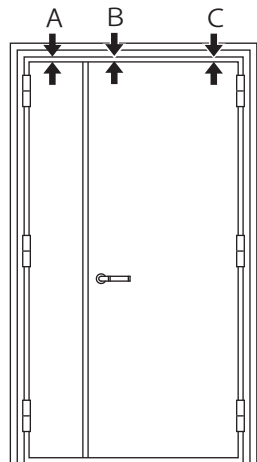
⚠ ご注意 ⚠

枠先行納入の場合は、下穴があいていませんのでご注意ください。

5. 扉の建付け確認

- ① 扉の吊り込み後、上枠とドアの天端との隙間が均等になっているか、戸当りとの隙間に支障がないか確認をしてください。

・外枠の垂直確認

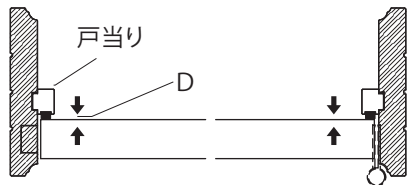
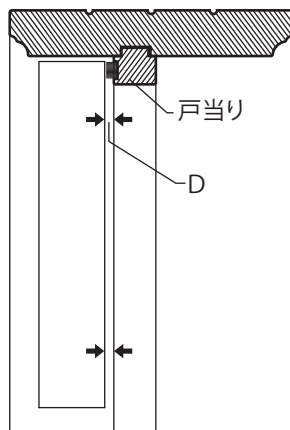


A = B = C

◆A・B・Cの寸法が均等になっているか？

・外枠の垂直確認

◆Dの寸法(縦枠・上枠)が3方均等になっているか？



6. レバーの取付け

扉の加工部分に座を取り付けた後、レバーハンドルを取付けてください。

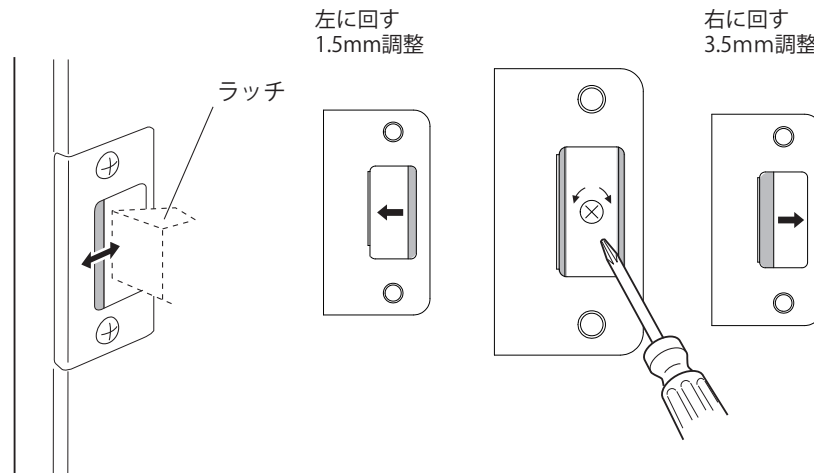
- 詳しくは、部品箱にある付属の説明書をご覧ください。
- ガタツキがないか、確認してください。

7. ストライクの調整

扉の上下調整

ドアのラッチ部分に「ガタツキ」があるときは、ラッチ受け部分の調整ネジを回して調整してください。

※調整には、電動ドライバーを使用しないでください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。

養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

⚠ ご注意 ⚠

ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。